



新町に期



日吉地区 父野川 井上 征広さん

残念ながら松野町が合併から離脱しましたが、広見町との合併で「鬼北町」誕生の運びとなりました。「合併」。今の時代だから仕方がないと思いますが、この住み慣れた日吉がどのように変化するのか、不安な方も多いのではないかと思います。少子高齢化の問題も、田舎ほど厳しい状況になると思います。今後は、若い人たちの働く職場を確保すること（企業誘致等）、充実した福祉施設の整備を期待します。日吉が取り残されないよう努力してほしいと思います。



日吉地区 上大野 宮本 美樹さん

日吉で生まれ育ち、そして子供を育てながら村の行事に参加したり歴史を学んだりするほどに、日吉村を愛する自分がいた。できることなら村のままでもいいと誰もが思っただろうが、平成の大合併という時代の流れに逆らうことはできなかった。ならば前を見て進めばいい。平成17年1月1日。広見町と日吉村が温かく手をあわせ「鬼北町」として新しい町づくりが始まる。私たちの住む「鬼北町」をどんな町にしたいか、町民の夢と希望を、ゆっくりでいいから理想の町につくり上げていけたらと願っています。



日吉地区 父野川 渡辺 文恵さん

いよいよ「鬼北町」として新しい町が誕生しました。途中で、ちよつとつまずきましたが、転ばず無事発足できました。明るくしつかりした町になることを願うものです。今度の合併では、周辺部、特に私たちの地域のような過疎地に住むものにとっては一抹の不安がよぎります。どなたが理事者になられるかは分かりませんが「仏像彫って魂入れず」にならないよう、町の隅々まで目を向けてほしい。そして、各地にはそれぞれの歴史があり伝統、文化に基づいた生活があります。そうしたものを生かし、地域格差のない町づくりをしてほしいと思います。



日吉地区 下鍵山 兵頭 尚さん

平成17年1月1日、いよいよ「鬼北町」がスタートした。日吉村が無くなるのは少し寂しい気もするが、それは仕方がない。合併すれば、今までのように何ん自由ないサービスを受けることができなくなるだろう。これからは、自分たちの地域は自分たちで盛り上げていかなければならない。それぞれの「住民力」が必要となってくるだろう。「鬼北町」のスローガンになっっている「森がすくすく、川がいっきいき、人が元氣」これを実践するためには、互いの地域の特色を活かし、努力していくことが大切であろう。新しい年を迎え「鬼北町」の住民として頑張っていきたい。